TOEFL 実践力 UP コース 第3回コーチング

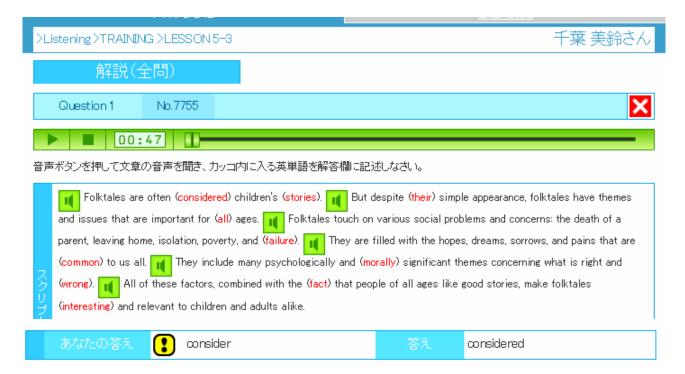
第3回目のコーチングです。お忙しいのでしょうか。残念ですが e-learning の進捗度があまりよくありません。前回のコーチングから1ヶ月以上たっていますが、前回の総ログ時間が4時間弱だったのに対し今回は合計8時間ちょっとの総ログイン時間です。忙しいとは思いますが、毎日少しずつをモットーにがんばって下さい。個別にコメントをしていきますが、今回も listening と grammar を中心にコーチングを行います。

Listening について

[training]



no の場合は there's no cloud in the sky のようになり、冠詞の a がなくなります。



受動態を表す-edを聞き逃してしまいました。consideredが正解になります。



story の複数形で stories になります。どちらも語尾の音に注意して聞くように心がけて下さい。

Reading について

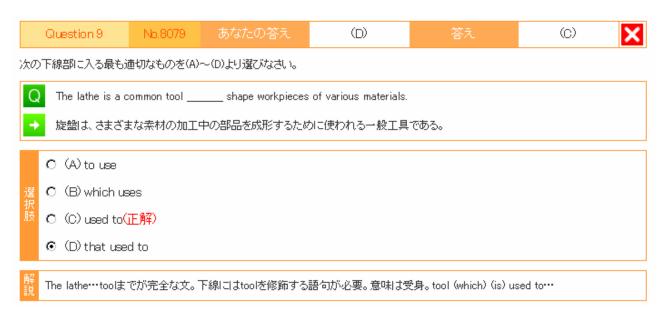
現在 Lesson 6 まで進んでいます。あわてて解くよりもじっくりと内容を確認しながら解くことをお勧めします。

Vocabulary について

現在Lesson2まで進んでいます。前回のコーチングで単語を覚える方法を述べました。ぜひ自分にあった方法をみつけて進めてみて下さい。

Grammar について

前回に続いて個別にコメントをしていきます。



問題文を2つに分けると次のようになります。

- (1) The lathe is a common tool.
- (2) The common tool is used to shape workpieces of various materials.

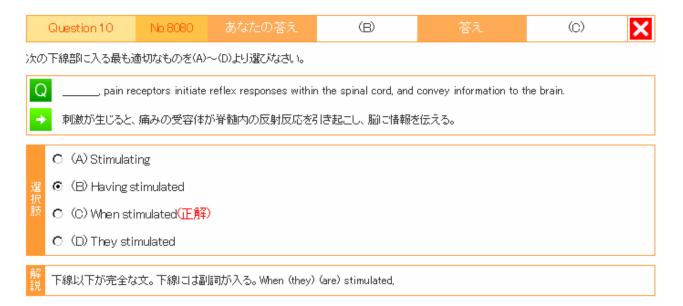
共通している a (the) common tool で 2 文を 1 つにすると

The lathe is a common tool

(which \mathbf{X} is that is) used to shape workpieces of various materials.

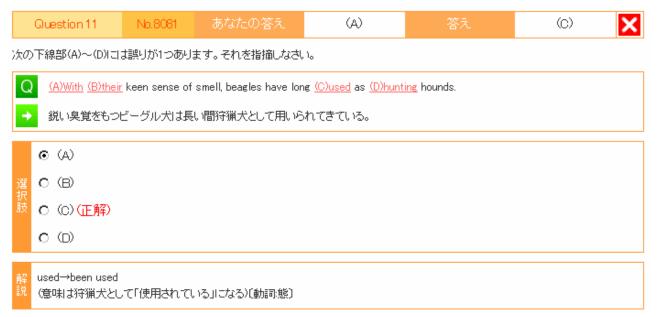
の形になります。

従って(d) は that is used to にならないと正解になりません。



分詞構文の問題ですが、主語の一致を意識する必要があります。本来の文に直してみると When pain receptors are stimulated…となるはずです。pain receptors are の部分は省略可能ですので When stimulated…が正解になります。

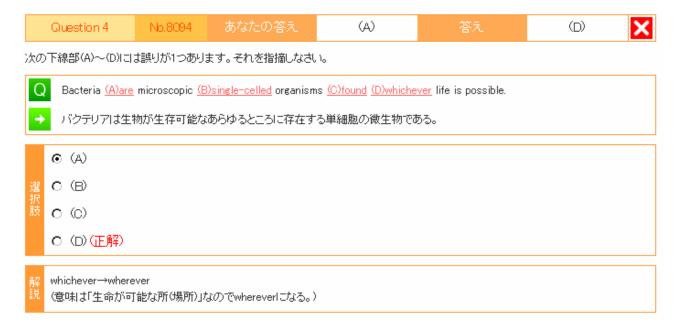
(B)の Having stimulated は Having <u>been</u> stimulated とする必要があり、またこの場合は時制を変える 必要がありませんので不可です。



主文になる文の骨組みを取り出してみると beagles have used as hunting hounds となることがわかります。意味を考えれば beagles have been used as hunting hounds と受動態になることがわかるはずです。文を見ていて間違いがわからない時は「文意を考える」ことが大切になります。



解説にもありますが、(B)の場合には which is popularly known as the mouth organ と is が必要です。



Bacteria are microscopic single-celled organism (which are) found <u>at any place where</u> life is possible. のうちの at any place where が wherever で表されます。at any place which では文法的に合いませんので whichever は不可です。



cause は動詞の性格として cause + 目的語 +to do となります。cause +目的語+ \sim ing は認められていません。

下線以下にあるのはabout insecticides(前置詞句)。ゆえに下線には、SVが必要。意味は「心配がある」となる。

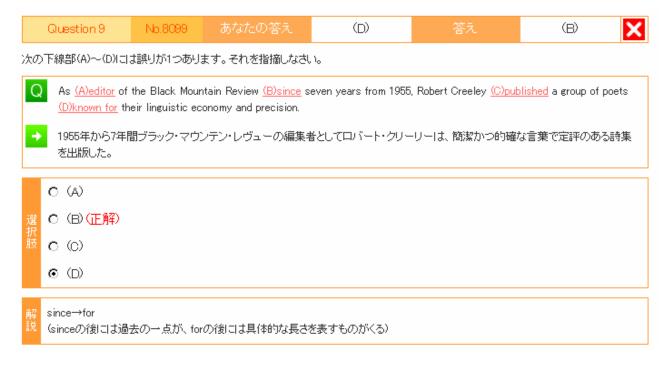
- ●●さんは(B)を正解としています。文法な観点からのみでしたら(B)も可能ですが、次のような例を考えてみて下さい。
- (A) It is a book on the desk.(それは机の上にある本です。)
- (B) There is a book on the desk. (机の上に本があります。)
- 一般的に言えば(B)が普通に起こりうる文であり、(A)は突然に出てきた文という印象があります。(A)の場合は、Itが何を指しているのか分からないので、読み手にとって意味不明な唐突な文だという感じがします。問題文の場合も It is current concern about insecticides entering the food chain and having a detrimental impact on wildlife, and perhaps on humans.では It が唐突な感じがします。

例えば、The topic of the article is current concern about insecticides entering the food chain and having a detrimental impact on wildlife, and perhaps on humans.なら全く問題ないと思います。 文法的な面で正しい文であっても意味の把握の面で「無理」のある文は standard, written American

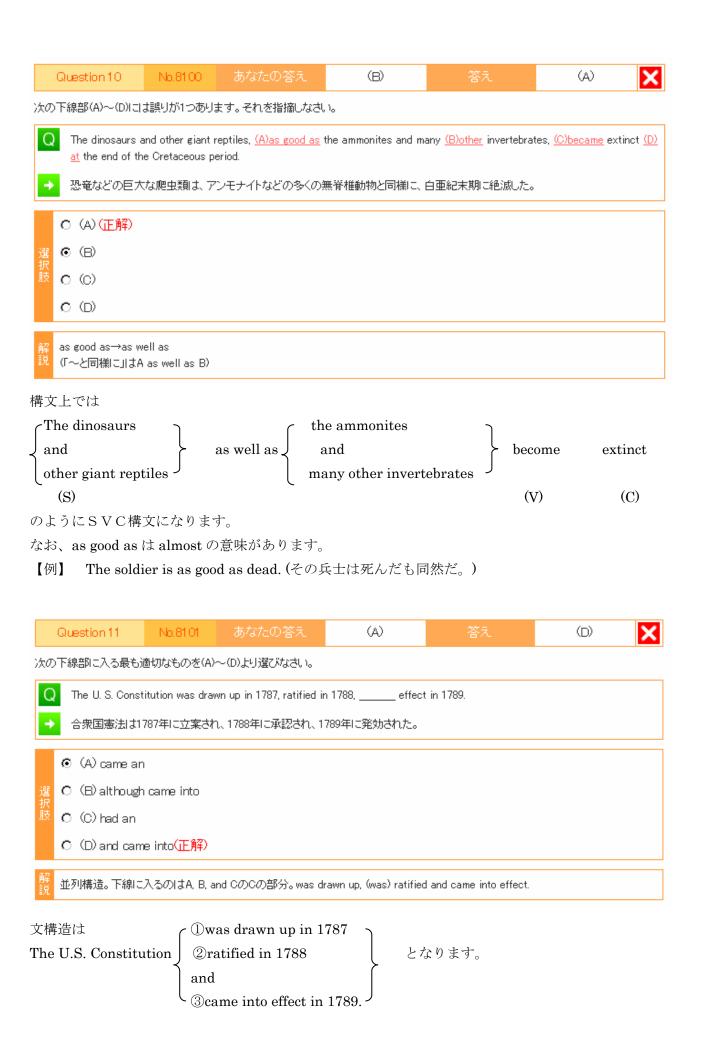
English の基準からはずれると考えて下さい。従って正解は(D) There is current concern about insecticides entering the food chain and having a detrimental impact on wildlife, and perhaps on humans.となります。



be useful は be of use、be useless は be of no use になるのと同じ使いかたです。Pines are very important commercially と Pines are of great commercial importance で同義となると考えて下さい。



since の場合は「過去の一点」ですから、since 1955 のようになります。この場合は for seven years で「7年間」ですね。



単語の難度が高いのですがごまかされずに構造をしっかりと把握してください。なお、come into effect で「効力を発する」の意味になります。

12月に入り寒さも増してきましたが体に気をつけてがんばって下さい。また時間をみつけて少しずつをモットーにがんばって下さい。

以上、何か質問などがありましたら、メールにてお願いします。

高木